

## 医歯工連携実用化シーズ・ニーズ登録票

1. **登録年月日.** 2012 年 3 月 9 日
2. **情報公開の設定.** 公開
3. **種別.** シーズ
4. **名称.** 無臭・無刺激性で粉液タイプの常温重合アクリルレジンは
5. **要点.** 無臭・無刺激性で粉液タイプのアクリル系常温重合レジンは、訪問診療などにおいてテンポラリーな歯科補綴物を作製する際などに、刺激の強い従来の MMA レジンに代わる安全な代替材料として好適に用いられる。
6. **概要.** 粉液を混合し常温重合させる MMA レジンは良好な操作性を有しており歯科臨床で繁用されるが、MMA モノマーの臭気、刺激性、毒性に問題点が残されている。本発明では粉成分に CHMA/EHMA ポリマー、液成分に EHMA を用いることで無臭・無刺激・低毒性化に成功したものである。更に架橋剤として TMP を用いることで強度の調整も可能である。整形外科用の骨セメントとして開発されたものであるが、今回は歯科の用途での実用化を目指す。  
MMA: メチルメタクリレート, CHMA: シクロヘキシルメタクリレート, EHMA: 2-エチルヘキシルメタクリレート, TMP: トリメチルプロパントリメタクリレート。
7. **知的所有権.** 国際公開番号 [WO2006123589](http://www.wipo.int/patent/wo/2006/123589) 医療用材料
8. **希望提携先.** 歯科材料メーカーなど
9. **参考資料その他.**  
本学産学連携本部問合せ番号: No.04-096 <http://www.tmd.ac.jp/tlo/pdf/04-096.pdf>  
原論文: Ono S, Kadoma Y, Morita S, Takakuda K. Development of New Bone Cement utilizing Low Toxicity Monomers. J Med Dent Sci. 2008; 55: 189-196.  
[http://lib.tmd.ac.jp/jmd/5502/01\\_ono.pdf](http://lib.tmd.ac.jp/jmd/5502/01_ono.pdf)
10. **連絡先.** 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 医歯工連携実用化施設  
高久田和夫 [takakuda.mech@tmd.ac.jp](mailto:takakuda.mech@tmd.ac.jp)